

重機等による労働災害を防ごう！

安全な作業のために

工事現場だけではなく搬入路及びその周辺を含めて、法面・路肩・道路等の亀裂等の状況をあらかじめ把握してください。そのうえで、把握した状況を踏まえた作業方法を決定し、作業順序を示した**作業計画**を作成して、作業員全員に周知し、共有してください。

連絡不足や調整不足は事故のもとです。作業者間の連絡、作業開始前のミーティング等を緊密に行ってください。**コミュニケーション**が大切です。

建設機械を使用するときは

路肩、傾斜地で作業を行なう場合は、**崩壊防止**を行ない、必要な幅員を設け、誘導者を必ず配置してください。

作業箇所に応じ、**転倒時保護構造**、**シートベルト**を有する建設機械を使用してください。



地盤が緩んでいる等不安定な場所で作業を行なう場合は、**鉄板の敷設**等によって、安定化を図ってください。

建設機械との接触を防止するため、旋回・走行範囲への**立入り**を禁止してください。やむを得ず、立ち入らせる必要が生じた場合は、必ず誘導者を配置してください。

クレーン機能付きのドラグショベルでつり上げる場合は、必ず**クレーン機能**に切り替えてください。

掘削作業を行なうときは

作業箇所やその周辺の地山の状況を調査し、その結果を踏まえ、**土止め支保工**等を設けてから作業を行なってください。

作業箇所やその周辺の地山について、あらかじめ点検者を指名し、**日々の作業開始前**に、亀裂や湧水等の地山の崩壊につながる変化はないか、**点検**を行なってください。台風による大雨の時期は、調査にあたって特に留意してください。

